

■第5分団祝入賞！愛知県消防操法大会 in 稲沢

平成30年7月28日第63回愛知県消防操法大会が稲沢市の祖父江の森で開催され第5分団(千代田地区)が勇姿を披露しました。台風12号の影響が危惧される中、県内各地から参集頂き無事に大会を終えることが出来、第5分団も見事入賞を果たしました。昨年からの訓練、支えて頂いた各分団、消防本部、区長をはじめとする地元の皆様に感謝です。



■稲沢市総合防災訓練

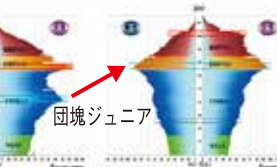
稲沢市総合防災訓練が明治・大里東・千代田の3中学校で実施され鈴木は明治市民センター地区でクロスロードゲームやリラクゼーション講習などに参加しました。酷暑に対し学校の空調整備が進展しましたが避難所として耐震対策を最優先した**体育館の猛暑対策**は必須です。



■全国地方議会サミット2018 ～議会の力で日本創生～



2015年 人口ピラミッド 2040年



自治体戦略2040 団塊ジュニアが高齢者になる2040年の県・市町村は？

少子高齢化、人口減少等に対して、議決権を持つ議会は重大な責任と豊かな可能性を持っています。地方創生時代を議会がリードするための改革先進事例と政策を学ぶセミナーに中村県議と稲沢市議会市民クラブのメンバー(魚住、遠藤、木全、志智の各氏)と参加しました。

基調講演は「地方議会から日本を変える」と題して北川早大名誉教授・元三重県知事が、続いて「地方創生の展望(自治体戦略2040)」と題して安田事務次官が、「真の地方創生とは何か」と題したディスカッションでは片山元総務大臣(地方創生と地方議会の役割)、大西熊本市長(震災復興と地方創生)の講演等がありました。

また、先進事例報告「地方創生をリードする議会へ」では、ピアンキ・アンソニー犬山市議会議員(自由討議で委員会提言へ)、「政策を実現する議会へ」では、尾崎東京都議会議員(条例マニフェストと議会改革)などから発表がありました。

愛知県議会議員 鈴木純 公式ホームページ
<http://www.step21.net>



鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791



●吉田氏祝！現代の名工受賞

全日本調理師協会愛知県本部愛知三味会総会で会長の京風料理と市田さんの現代の名工受賞をお祝い。2019、2020年に全国技能五輪開催。23年の国際大会(未定)は日本料理を特別に競技種目に！



●そぶえ夏まつり

今年も恒例のそぶえ夏まつりが県の消防操法大会の会場となった祖父江の森で山崎地蔵太鼓保存会の皆さんや徳川家康と服部半蔵忍者隊などのショーもあり盛大に開催されました。



●石黒氏世界理容美容技術選手権大会へカットサロンいしぐろの石黒賢三氏がパリで開催される世界大会に日本代表選手として出場のため大村愛知県知事を表敬訪問。知事からは理容師57年の技術を生かして頑張ってくださいと激励を頂きました。



●連合愛知・新政あいichi推薦

新政あいichiの設立時にも働く仲間の連合愛知にご支援を頂いていますが、来春に向け新政あいichiを通して仲間の議員に推薦を頂きました。役員(総務会長代行)特権？で佐々木会長とのツーショットです。



愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいichi 県議団

愛知県議会報告は新政あいichi県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
 代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

大村知事 2月知事選 続投表明！

愛知県議会9月定例会には59億2千万円の一一般会計補正予算など予算関係2件、愛知県地球温暖化対策推進条例の制定(計画は策定済み)、あいち森と緑づくり税条例の一部改正(適用期間の5年間延長)、公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部改正などの条例関係9件、教育委員会委員の選任などその他の議案28件の計39議案が提出され、可決・同意されました。

一般会計の補正予算のうち、交通安全施設整備に約1.1億円のほか公共工事関係が約53億8千万円と大半を占めますがその他の主なものは、県立特別支援学校の空調設備の整備前倒しのために約0.4億円(外に債務負担行為約4.7億円)、コンクリートブロック塀の撤去に約6.0億円、あいち航空ミュージアムに新たな展示機体を設置に約0.1億円、てんかんの診療体制整備(名大医学部付属病院予定)に約0.01億円等です。

公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部改正は、妬みなどの嫌がらせ行為の新設、盗撮行為等の規制場所の拡大及び準備行為の規制、罰則の引上げを行うと共に名称を**愛知県迷惑行為防止条例**に改正するものです。

さて、来年2月の知事選に向けて知事の続投表明もありましたが、統一地方選挙は4月、参議院選挙は7月、稲沢市議会選挙は9月と少し早いですが来年は選挙イヤーです。



ボランティア活動功労者表彰



愛知県庁講堂で長年のボランティア活動に対し表彰状が授与され、稲沢市からは障害者支援施設での将棋交流で、長崎輝久氏と牧野清氏が表彰されました。稲沢市関係では、鈴木が県議会に送って頂いてからの3期十二年の間、今年度のお二人のほかに、個人では中野政子さん、団体では陽気ぐらし会、ともしび、やまびこ会、読み聞かせボランティア、アきらら会、音声訳ボランティアグループせせらぎ、コスモス会、要約筆記「いなざわ」の皆さんが表彰されています。山口県で男児を発見した尾島さんをはじめ西日本豪雨、台風二十号、北海道地震などの災害にも多くのボランティアの方々にお力添えを頂いています。様々な地域で、立場での活動に敬意と感謝です。愛知県のボランティアセンタリーには二十七万三千人の方が登録されています。未来へつづきまっくりに生懸命働きます。

▲写真上はスペシャルオリンピックスのボウリング会場となった名古屋グランドボウルで競技の視察に訪れた有森裕子大会会長と

愛知県議会議員
 (稲沢市選出)
 すずき 純

重点事業等調査研究会

新政あいち県議団の重点事業等調査研究会が8月6日から4日間にわたり各部局ごとに開催されました。ヒアリング項目(抜粋)は以下の通りです。

総務部・政策企画局

県財政の状況：当初予算の県税収入は法人二税の増加が見込まれるが減収前の平成28年度の水準約1兆2,660億円までの回復には至らない見込み。当初予算の基金取崩し1,283億円に対し、現時点では繰越金(29年度決算の実質収支)193億円、地方財政措置の増429億円にとどまっている状況。

愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略：2060年に700万人の人口を確保するとして人口ビジョンとその実現に向けた5か年(2015～19年度)のまち・ひと・しごと創生総合戦略。本県の総人口は増加が続いており2017年10月時点で752万6,911人、但し自然増減数(出生数－死亡者数)は2017年に初めてマイナス(▲2,368人)となった。

県民文化部・防災局

平成26年12月に策定した第3次あいち地震対策アクションプランの3年間毎の見直し検討では、**市町村防災支援システムの導入促進**など新規アクション項目の追加、ブロック塀等の付属物の耐震対策の推進等を追加修正などの改訂(熊本地震は対応済み)。

振興部

産業首都愛知の産業振興の拠点として、さらには空港隣接の立地等を生かした国際的な交流の拠点として常滑市の空港島に展示面積6万㎡の国際展示場を整備、平成31年9月の開業予定。



進捗状況 H30年7月末

環境部

あいち地球温暖化防止戦略2030を本年2月に策定。徹底した省エネルギーと創エネルギーの導入拡大の推進を図るため、県民、事業者、市町村等全ての主体による積極的な取組等3つの視点に基づき推進。

建設部

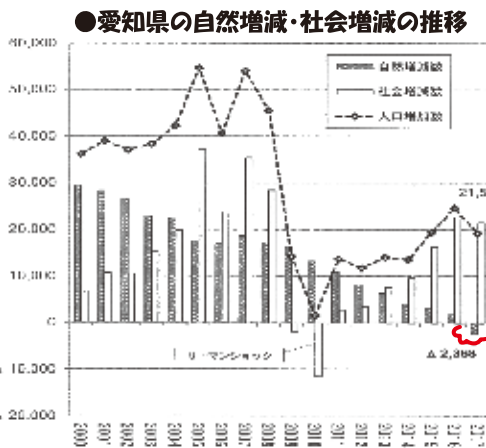
名城公園北園の野球場あたりで新体育館(大相撲名古屋場所にふさわしい風格のある施設など1万人程度収容)の基本計画の策定に向け推進。

健康福祉部・病院事業庁

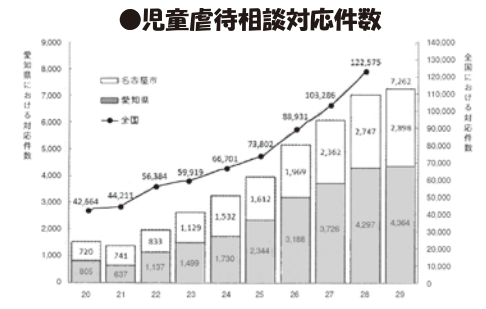
児童虐待防止対策は平成26年3月に議員提案により**愛知県子どもを虐待から守る条例**を制定し推進。認知症高齢者数は平成24年の約24万人が平成37年(2025年)には約40万人に達すると推計されオレンジタウン構想の推進に加え**認知症対策の推進に係る条例**を制定予定。本年6/15から住宅宿泊事業法(民泊新法)が施行、182件の届出受理。

警察本部

上半期の交通死亡事故死者数は95人(前年同期比+3人)で全国ワースト。主な特徴は高齢者が12人増加し6割強、交差点も15件増加し55%(交差点付近も含めると7割強)、**毎月11日の横断歩道の日**を新設。

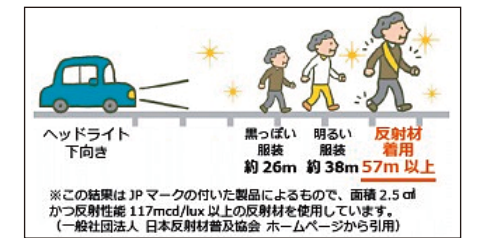


●あいちトリエンナーレ2019
テーマ：情の時代 Taming Y/Our Passion
芸術監督：津田大介氏
会期：2019年8月1日～10月14日



●住宅宿泊事業(民泊)届出受理件数

市町村名	受理件数	市町村名	受理件数
名古屋市中区	1,116	常滑市	4
豊田市	2	新城市	3
一宮市	1	東海市	2
瀬戸市	2	大府市	2
半田市	1	豊明市	1
春日井市	7	清海市	1
豊川市	1	津島市	1
豊田市中区	2	武豊町	1
稲沢市	1	設楽町	1
犬山市	3		



教育委員会

全国最大級の弥生時代の大規模な環濠集落の遺跡である清須市、名古屋市西区にまたがる**朝日遺跡**の魅力を発信へ朝日遺跡・弥生体感ミュージアムとして清州貝殻山貝塚資料館等を拡充整備、平成32年秋の開館予定。



産業労働部

活き活きと働ける環境づくりでは**若者の早期離職**(全国での3年以内の離職率は高卒4割、大卒3割、主な離職理由は、繁忙、人間関係、仕事合わない等)防止に向けて職場内で若者の身近な相談相手となる人材の養成支援等を実施。

企業庁

県営水道地震防災対策の実施計画の進捗状況は、総事業費約950億円に対し今年度予定の56億円を含め625億円の進捗、完了(残325億円)は平成42年度予定。

農林水産部

あいち森と緑づくり税は平成21年度に県民税の超過課税として個人年額500円、法人5%をいただき～山から街まで緑豊かな愛知を目指して～スタート、10カ年の総事業費は220億円、国が進める森林環境税(仮称)を見通しながら事業(税)を継続。

●新政あいち 県議団産業労働部会調査 2018.08.20・21
産業労働委員会のメンバーでロボット関係を中心に調査に行かせて頂きました。

従業員千人を超える川田工業のグループ会社のカワダロボティクス(栃木県 従業員79人)はヘリコプターの開発に始まり、大学(国)との連携でその軽量・高密度実装の技術を生かしてロボット分野へ進出。人型ロボットはHRP(未来技術遺産に登録)以降開発されていないが、人間協調・協働型の理念は双腕型産業ロボットNEXTAGE(1体800万円弱)に活かされ生産されている。製品としてロボットを販売し、プログラミングなどは納入先企業が行うとのこと。労働力人口減少の中、現場の熱意、社長の方針と行政の支援の三位一体で課題の解決と夢へのプロジェクトに期待。



ワールドロボットサミット2020はジュニアも含めた7種目のうちインフラ・災害分野の2種目が福島県の開催。復興に向け浜通り地域に新しい産業を創出する国家プロジェクト、福島イノベーション・コースト構想を具現化する**福島ロボットテストフィールド**は70haの工業団地の内50haを占め全て国家予算で整備。ドローン、点検ロボット、災害対応ロボットなど陸・海・空のフィールドロボットを対象に4エリア15施設からなる研究開発・訓練拠点が本格整備され残りの20haに企業集積が進めば日本のロボット産業の拠点になることが予想され次世代産業と位置付ける本県としてサミットを通じどのように連携していくのかチャンスでもあるがピンチでもあると危惧。

連合愛知尾張南地協県政報告

8月2日の鈴木じゅん60歳の誕生日(還暦です!)に連合愛知尾張南地域協議会の幹事会で、国際化への対応や再犯防止計画、自治体戦略2040など6月議会の一般質問の内容を中心に県政報告をさせて頂きました。また、ヘルプマークの愛知県や稲沢市の取組、広報・啓発の必要性や統一地方選挙の日程などについて意見交換をしました。